

令和3（2021）年度入学者選抜方法等の主な変更点について

令和2年7月 弘前大学

令和3（2021）年度入学者選抜要項の公表にあたり、前年度からの主な変更点を取りまとめました。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴う措置内容については、「新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学者選抜方法等の特例措置について（令和2年7月弘前大学）」の内容を盛り込み、**網掛**で標記しています。

1. 試験の名称

- (1) 大学入試センター試験 → 大学入学共通テスト
- (2) 一般入試 → 一般選抜
- (3) AO入試 → 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

2. 募集人員

総合型選抜の募集人員を337人から428人に拡充します。これにより、総合型選抜の募集割合は全体の32.4%となります。

入試区分	令和3年度	令和2年度	令和2年度比				
一般選抜	前期日程	716	894	801	985	△85	△91
	後期日程	178	184			△6	
総合型選抜	Ⅰ	242	428	205	337	+37	+91
	Ⅱ	186	132			+54	
合計		1,322	1,322				

(変更内訳)

学部学科等	一般選抜	総合型選抜
人文社会科学部 文化創生課程 社会経営課程	(前期) 70→60 (前期) 100→90* *国語選択 60→55, 数学選択 40→35	Ⅰ 25→35 Ⅰ 35→45
教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程		Ⅰ 5→Ⅱ 5 Ⅰ 6→Ⅱ 6
医学部 医学科	(前期) 70→65* *青森県定着枠 20→15	Ⅱ 42→47* *北海道・東北枠 15→20
医学部 保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	(前期) 60→50 (前期) 30→24 (前期) 30→24 (前期) 15→12 (前期) 15→12	Ⅱ 20→30 Ⅱ 10→16 Ⅱ 10→16 Ⅱ 5→8 Ⅱ 5→8
理工学部 数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	(前期) 40→38*, (後期) 18→16** *数選択 20→19, 数/理選択 20→19 **数選択 7→6, 理選択 11→10 (前期) 29→26 (後期) 18→15 (前期) 31→29, (後期) 10→9 (前期) 40→36 (前期) 15→9, (後期) 5→12	Ⅰ 20→24 Ⅰ 13→16 Ⅰ 17→20 Ⅰ 14→17 Ⅰ 20→24 Ⅰ 10→9
農学生命科学部 生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	(前期) 26→23, (後期) 7→5 (前期) 22→20, (後期) 11→8 (前期) 33→26 (後期) 12→10 (前期) 18→15	Ⅱ 7→12 Ⅱ 7→12 Ⅰ 10→17 Ⅰ 13→15 Ⅰ 6→9

3. 大学入学共通テストについて

一般選抜及び総合型選抜Ⅱにおいて、大学入学共通テストの外国語科目については、下記の取扱いとします。

- (1) 外国語科目については、全学部で英語のみとします。
- (2) 英語の得点は、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点（200点満点）を素点として利用します。
- (3) リスニングを免除された場合は、リーディングの成績を200点満点に換算して素点として利用します。

4. 出願書類の評価について

4-1. 調査書

一般選抜及び総合型選抜において、高等学校等が作成する「調査書」を活用して志願者の意欲や行動力等を評価することを予告しておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う高等学校等の臨時休業等により、出席日数、特別活動の記録や指導上参考となる諸事項の記載に影響が生じる可能性があること、文化・スポーツ大会や資格・検定試験等に参加できず諸活動の実績や資格・検定試験等の成績の結果を記載できない場合があることなどから、今年度は全ての選抜において「調査書」を評価対象から除きます。一般選抜及び総合型選抜において面接試験を実施する学部等では、「調査書」を面接試験の参考として使用することがあります。

高等学校の臨時休業により第3学年の評定を記載できない場合は、その理由（例：「新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業のため記載不可。」）を記載してください。

なお、今回の変更は新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う特例措置であるため、各学部等が「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」で示している入学者選抜の基本方針とは一部内容が異なることをご承知置き願います。

また、「調査書」の作成にあたり、「備考欄（大学の希望により当該大学の学部等に対する能力・適正等について、特に高等学校長が推薦できる生徒についてはその旨記入することとされている欄）」については、本学では記載を求めません。

4-2. 志望理由書等（志願者本人が記載する書類）

一般選抜においては、教育学部を除く全ての学部で「志望理由書」の提出を求めます。面接を課さない学部では、「志望理由書」の内容に基づき、主として行動力や意欲を評価します。

総合型選抜においては、人文社会科学部を除き、志願者本人が記載する書類の名称を「志望理由書」に統一します。

なお、「志望理由書」等の評価において、志願者のさまざまな活動を評価する場合であっても、志願者のチャレンジ精神、努力のプロセス、積極性などに主眼を置くものであり、新型コロナウイルス感染症対策に伴う各種行事の中止等の影響により不利益となることはありません。

4-3. 出願書類の評価方法

出願書類の評価方法の概要は下記のとおりです。

(1) 一般選抜

- 人文社会科学部、医学部保健学科、医学部心理支援科学科、理工学部、農学生命科学部：
「志望理由書」を4段階評価し点数化する。出願書類の配点は予告から変更しない。
- 教育学部：
「調査書」は面接試験の参考とする。
- 医学部医学科：
「調査書」及び「志望理由書」は面接試験の参考とする。

(2) 総合型選抜

- 人文社会科学部：

「学習計画書」は点数評価する。配点合計は、予告時の600点から500点に変更する。

- 教育学部（音楽・美術・保健体育専修）：

「調査書」は面接試験の参考とする。配点合計は、予告時の625点から600点に変更する。

保健体育専修では、「スポーツ競技歴に関する資料」を面接試験の参考とする。

- 教育学部（音楽・美術・保健体育専修除く）、理工学部、農学生命科学部：

「志望理由書」を4段階評価し点数化する。学部によって「調査書」及び「志望理由書」を面接試験の参考とすることがある。出願書類の配点は予告から変更しない。

- 医学部医学科：

「調査書」及び「志望理由書」は面接試験の参考とする。

- 医学部保健学科：

「志望理由書」を4段階評価し点数化する。「調査書」及び「志望理由書」は面接試験の参考とする。出願書類の配点は、予告時の200点から100点に変更し、配点合計は1,500点から1,400点に変更する。

5. 一般選抜

5-1. 個別学力検査の出題方針等

一般選抜で実施する個別学力検査の出題教科・科目の範囲は、高等学校学習指導要領による教育課程に従って学ぶ教科・科目に対応させていますが、令和3年度入試からは、より論理的な思考を問うための記述式の設問を拡充します。教科・科目試験、総合問題及び小論文の出題方針及び形式については、選抜要項等において新たに公表します。

なお、数学Ⅲ及び理科の出題に関し、教科書において「発展的な学習内容」として記載されている内容から出題する場合は、設問中に補足事項を記載するなどの配慮をします。

5-2. 個別学力検査の変更点

(1) 教育学部（前期日程）

全課程：個人面接を追加（試験日程は2日間、試験会場は弘前地区試験場のみとする）

小学校コース：理科の選択科目から地学を削除

中学校コース（理科専修）：理科の選択科目から地学を削除

中学校コース（技術専修）：理科→数学へ変更

養護教諭養成課程：理科の選択科目から物理及び地学を削除

(2) 医学部医学科（前期日程）

数学及び英語→総合問題（文章や資料の読解、分析を含め総合的思考力を試す）へ変更

(3) 医学部保健学科（前期日程）

看護学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻：

数学及び英語→数学又は英語から1科目選択へ変更し、小論文を追加

放射線技術科学専攻：理科2科目及び英語→数学及び物理へ変更

検査技術科学専攻：理科2科目及び英語→理科1科目選択及び英語へ変更

(4) 理工学部（前期日程）（後期日程）

数物科学科（数学選択）を除く学科：理科→物理，化学から1科目選択に統一

(5) 農学生命科学部

（前期日程）地域環境工学科を除く学科：理科→化学，生物から1科目選択に統一

（後期日程）全学科：理科→小論文へ変更

5-3. 第2志望選抜の廃止

一部の学部で実施してきた第2志望選抜は、令和3年度入試から廃止します。

5-4. 試験日程の変更

一般選抜の出願期間を予告から変更し、1月25日～2月5日とします。また、後期日程の入学手続は3月26日までとします。

6. 総合型選抜

6-1. インターネット出願導入

本学では、令和2年度一般入試からインターネット出願を導入していますが、令和3年度入試では総合型選抜においてもインターネット出願を導入します。

なお、募集要項は紙媒体での発行はせず、インターネット上からダウンロードしていただくこととなります。

6-2. 試験日程の変更

「令和3年度大学入学者選抜実施要項（令和2年6月19日付 2文科高第281号）」の内容を踏まえ、総合型選抜の試験日程を次のとおりとします。

総合型選抜Ⅰ、Ⅱともに、出願期間は10月1日～7日、試験実施日は11月7日～8日とし、全学同日程で実施します。合格発表日は、総合型選抜Ⅰが11月26日、総合型選抜Ⅱは2月10日とします。

6-3. 専門高校卒の導入

人文社会科学部、理工学部、農学生命科学部の一部の学科・課程では、これまで専門高校等の出身者について“〇名の合格者を予定している”として募集していましたが、令和3年度からは専門高校や専門学科等の出身者について専門高校卒として募集人員を明記します。

6-4. 大学入学共通テストの受験について（総合型選抜Ⅰの合格者）

大学入学までの勉強意欲継続という趣旨に鑑み、令和3年度以降の総合型選抜Ⅰの合格者に対しては、大学入学共通テストの受験を必須とする予定でしたが、これを任意とします。

なお、これまでどおり、大学入学共通テストの成績が合否に影響することはありません。大学入学共通テストの受験教科・科目については下記のとおりです（全学部共通）。

【大学入学共通テストの出題教科・科目】

国語	国語 を1		
地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	】	1又は2
公民	現社、倫、政経、倫政経		
数学①	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A	】	1又は2
数学②	数学Ⅱ、数学Ⅱ・B、簿記・会計、情報関係基礎		
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎、 物理、化学、生物、地学	】	1から3
外国語	英語（リスニングを含む）を1		

【5教科7科目から6教科8科目】

6-5. 各学部等の変更点

(1) 人文社会科学部

「高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上である者」を出願要件として予告していましたが、卒業時期に関わらず、出願要件から除外します。

また、社会経営課程の専門高校卒の出願要件において、総合学科に関しては「商業又は情報の単位を20単位以上修得した者」としていましたが、「商業又は情報の単位を20単位以上修得した者及び令和3年3月までに修得見込みの者」とします。同じく、専門高校卒の出願要件としていた、簿記検定試験等の合格条件を出願要件から除外します。

(2) 教育学部

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コースのAO入試Ⅱでは、センター試験の成績は最

終合格者を決定する際の目安として取り扱ってきましたが、令和3年度入試からは大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点で合否判定を行います。

また、総合型選抜Ⅰにおける学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コースの次の専修の実技の選抜方法を予告から変更します。音楽専修では、一部の課題は動画の事前提出とし、試験当日の実技実施方法も変更します。保健体育専修では、柔道及びバスケットボールは、他者との接触を伴わない形で実施します。

(3) 医学部医学科

AO入試Ⅱでは、これまで2段階選抜を行ってきましたが、これを取りやめます。令和3年度入試は、①個人面接、②ケーススタディの自学自習により実施し、2日間の日程で試験を行います。予告から変更して、ワークショップは実施しないこととし、配点合計を、予告時の1,700点から1,300点に変更します。

また、これまでセンター試験は「資格試験」と位置づけしてきましたが、令和3年度入試からは、大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点で合否判定を行います。

出願要件として予告していた、「高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.3以上の者」に関し、令和3年3月に卒業見込みの者で高等学校の臨時休業等の影響により第3学年の評定を記載できない場合は、「第2学年までの評定による全体の学習成績の状況が4.3以上の者」であることを出願要件とします。

(4) 医学部保健学科

AO入試Ⅱでは、これまで高等学校等の卒業見込であることを出願要件としてきましたが、令和3年度入試からは卒業後5年までにし出願要件を拡張します。

また、出願要件として予告していた「高等学校等における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上である者」は、卒業時期に関わらず、出願要件から除外します。放射線技術科学専攻においては、「数学Ⅰ～Ⅲ」又は「理数数学Ⅰ～Ⅱ」の科目を履修した者及び令和3年3月までに履修見込みの者」を出願要件とします。

(5) 農学生命科学部

分子生命科学科の総合型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストの英語を選択科目から必須科目とし、生物学科と科目を統一します。

7. 試験期日等の配慮

7-1. 一般選抜の追試験実施

新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者として自宅待機している者、試験当日に発熱・咳等の症状があり受験を取り止めた受験者のために、医師の診断書等の提出を条件として、一般選抜前期日程・後期日程において、3月22日に追試験を実施します。追試験は、本試験と同じ選抜方法により、弘前地区試験場のみで実施します。

7-2. 大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程

大学入学共通テスト特例追試験受験者の試験日程を、下記のとおり別途設定します。

総合型選抜Ⅱ：合格発表日2月22日、入学手続2月27日まで

一般選抜：出願期間2月15～18日

8. 社会人入試

理工学部では、令和3年度入試から社会人入試の募集を取りやめます。

総合型選抜に合わせて試験日程を変更し、総合型選抜Ⅰと同一の日程で実施します。

9. 私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では、令和3年度入試から日本語能力の基準として「日本語能力試験」の成績がN2以上であることを出願要件に加えます。

2020年6月の日本留学試験が中止されたことに伴い、出願要件の対象とする試験を、「2019年度日本留学試験（6月又は11月）」及び「2020年度日本留学試験（11月）」のいずれかとし、本学が課す科目を受験していることを出願要件とします。

また、出願期間を、1月25日～2月5日に変更します。

なお、教育学部音楽専修の実技の選抜方法について、一部の課題を動画の事前提出にするとともに、試験当日の実施方法を変更します。

以 上